

保護者の皆さまへ 寝屋川支援校長室だより

令和4年3月30日 No.17
大阪府立寝屋川支援学校
校長 福井 浩平
准校長 阪本 友輝

振り返りますと、今年度も新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年でしたが、24日に無事、今年度の修了式を終えることができました。

新型コロナに関して、マスクの着用・手洗いの励行等や行事等の度重なる変更に伴うご協力、また、感染拡大防止のためご来校をお控えいただく等、保護者の皆様にはなかなか学校にお越しいただけいない状況が続き、大変申し訳ない思いです。

またそれ以上に、子どもたちが日々安全安心に学校で過ごすための学校へのご協力に、感謝の気持ちでいっぱいです。

昨年度に引き続き、先生方や全ての職員がチームとなって保護者の方々と連携を図り、不透明な状況が続く年度を何とか乗り越えることができ、寝屋川支援の底力を改めて感じた1年間でした。本当にありがとうございました。

次に子どもたちが登校するときには1学年進級して、新しい仲間を迎えての春となります。春休みの間、それぞれの新しいスタートに向け、ご準備いただきますよう、何卒よろしくお祈りします。

●修了式について

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、事前に撮影した「准校長のはなし」「校長のはなし」を学年・学級に分かれて見るといった形式で始業式・終業式等を行ってきました。本日の修了式で子どもたちに伝えた内容をご紹介します。

○准校長より

「小中学部の卒業式で着ていた服を着て動画を撮影しています。ネクタイもお祝いの白いネクタイをしています。1年間を頑張って、今日修了式を迎える皆さんへのお祝いの意味も込めています。修了式おめでとうございます！」「春からは皆さん、ひとつ学年が上がります。この1年間を振り返ると、どんな1年間でしたか。いろんなことがありましたよね。准校長先生もいろんなことがありましたが…皆さんと過ごした1年間はとても楽しかったです。」「春休みは体や気持ちを休憩させて、でもリズムを崩さず新しい学年の準備を進めてください。次は4月8日に元気な皆さんと会えることを楽しみにしています。」

○校長より

「今日は『修了式』です。『修・了・式』というのは学習していたことを終わる日の式のことです。」「この1年、たくさんのご取り組み、心も体も1年前と比べて、一回り大きく成長しました。」「3学期の始業式で『1月は行く』『2月は逃げる』『3月は去る』と話しましたが、本当に早く過ぎ去りました。でも充実した日々を過ごせたのではないのでしょうか」「春休みも『早起き・早寝』で規則正しい生活を送ってください。また、『マスクをつける』『手をあらう』『人との距離をとる』『大きな声はださない』といった感染症対策をしっかりと行いましょう」「始業式に皆さんと会えるのを楽しみにしています。」「1年の締めくくりに周りの人に感謝の気持ちを込めて『ありがとう』といって別れてもらえたらと思います」

●1年間ありがとうございました

修了式の日はまだつぼみでしたが、約1週間が過ぎた30日に撮影した校門前の桜です。もうすぐ満開という感じです。

現在は、蔓延防止等重点措置も解除され、感染状況も少し落ち着いているように感じますが、「PTA新聞『きぼう』」でもお伝えしましたように「新しい生活様式」「Withコロナ」と言われている中、次年度も感染症対策を行ったうえでの教育を行っていくことになると思います。

そのような中でも、身体的には密を避け、心の距離は（親）密にして、保護者の皆様と連携し、子どもたちを育てていければと考えています。

写真の桜のように、子どもたち一人ひとりの花を咲かせていけるよう努めてまいります。今後ともよろしくお祈りします。

1年間本当にありがとうございました。

